

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2764
部 名	環境保全部	課 名	環境対策課	課長名	小林三千雄
事務事業名	環境管理システム推進事業				
予算上の事務事業名	環境管理システム推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				事業開始年度
施 策 名	第2施策 環境負荷の低減を進めるしくみづくり				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市環境基本計画、相模原市環境マネジメントシステム要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市環境マネジメントシステム		ISO14001規格に則ったしくみによる環境負荷の低減及び環境保全施策の推進。環境基本計画の進行管理。ISO規格による認証の取得と維持。後期計画H19～H23		
計画年次	13	年度～	17	年度	
4 事業形態の区分	計画の策定・推進 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
市の日常業務における環境負荷の低減と環境保全施策の推進				市職員。市の事務事業及び環境関連施策。	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
年5月 内部監査員研修(委託) 2日間実施(12日、15日)、対象者14名、外部講師1名 6～7月 内部監査 8月 統括責任者(市長)へ監査結果報告及び統括責任者によるシステムの見直し 10月～ ISO情報管理システム改修(委託) 利便性の向上、事務の効率化を目的にバージョンアップとカスタマイズを実施 11月 定期審査(外部審査) 受審認証登録維持のための定期審査。登録範囲から対象を抽出、審査員3人により3日間(8～10日)実施した。対象内訳: 部会(10)、課:(13)、清掃工場等(3)、出先機関等(6) 随時実施した事務等 ア) ISO情報管理システム保守管理(委託) イ) 環境マネジメントシステムの運用・維持・見直し等、ISO規格改正への対応(要綱改正等)					
6 関連・類似事業や他市の状況	国内の公共行政部門でのISO14001適合組織数=499件;(財)日本適合性認定協会による教育委員会(教育総務課)が、独自に学校版の環境マネジメント事業である「さがみ風っ子ISO」を実施している。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	5,037	3,412	4,614	2,595	3,749
一般財源	5,037	3,412	4,614	2,595	3,749
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,356	3,204	2,421	2,421	2,421
事業コスト合計(a)	8,393	6,616	7,035	5,016	6,170
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	[単位:千円]				
主たる事業名	ISO認証登録維持及び拡大に係る事務事業		対象名称(単位)	適用範囲施設数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	5,307	3,412	4,614	2,595	3,749
対象数	39	60	60	61	61
単位あたり経費(円)	136,077	56,867	76,900	42,541	61,459
前年度比		0.42	1.35	0.55	1.44

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明	当該年度に達成された目標の数÷当該年度に設定された目標の数			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	87.0	106.0			
目標	98.0	130.0	122.0	0.0	0.0
目標達成度	0.89	0.82	0.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明	電気消費量削減目標値×CO2換算係数+都市ガス消費量削減目標値×CO2換算係数			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	201706.0	572618.0	265159.0		
目標	41104.8	58477.5	160282.9	160282.9	0.0
目標達成度	490.7	979.2	165.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			京都議定書の発効等、環境負荷の削減は組織として果たさなければならぬ社会的要求となっている。また、環境マネジメントシステムは市の環境施策を管理する役目を担っている。システムが浸透し、一定の成果が得られ、事務経費節減にも貢献しているが、今後も、より活用しやすく実効性が向上するよう継続的に改善を行う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
組織全体の目的・目標のあり方および適用対象を精査することにより、システムを簡素化し、成果がより明確となることを見込まれる。また、その精査の作業は平成18年度以降（後期計画期間）の目的・目標設定のための作業として、平成17年度に実施する。			外部機関による審査の手数料が主な経費であるため、認証登録範囲のいたづらな拡大は、経費の増大につながる。節減のためには今後の認証登録範囲についての精査等が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			システムの簡素化に取り組み、経費の削減を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			